

バリアフリー整備計画（計画期間：2023年度～2025年度）

計画期間における整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・五反田駅におけるホームドア整備 ・駒沢大学駅エレベーター整備によるバリアフリー 2ルート目の確保 ・段差・隙間縮小に資する設備の設置 ・大井町線車両新造による車両のフリースペース確保 	
※2022年度末時点		
設備名	整備状況	
ホームドア・センサー付固定柵	世田谷線・こどもの国線を除く全駅に整備済み（87駅）	
段差の解消	全駅段差解消済み（99駅） 99駅のうち1駅(こどもの国駅)は段差無し	
うち、エレベーターによる解消	70駅	
うち、スロープによる解消	28駅	
エスカレーター	53駅	
内方線付点状ブロック	全駅整備済み（99駅）	
段差隙間縮小に資する設備	3駅4箇所	
バリアフリースイレ	86駅	
車両のフリースペース	全編成整備済み（181編成）	
計画期間における整備内容（設置・改良・更新）		
設備名	整備数	
ホームドア	1 駅	2 番線
エレベーター	1 駅	1 基
段差隙間縮小に資する設備	95 駅	194 箇所
車両のフリースペース	9 編成	45 車両